

令和3年度春期 ネットワークスペシャリスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021,6,25

4月18日(日)に行われた令和3年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。新型コロナの影響で昨年10月に実施予定だった試験が延期され、今年の4月に実施されたものです。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、ネットワークスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■ネットワークスペシャリスト試験 (NW)

[令和3年度春期 ネットワークスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	12,690人
受験者	8,420人
合格者	1,077人
合格率	12.8%

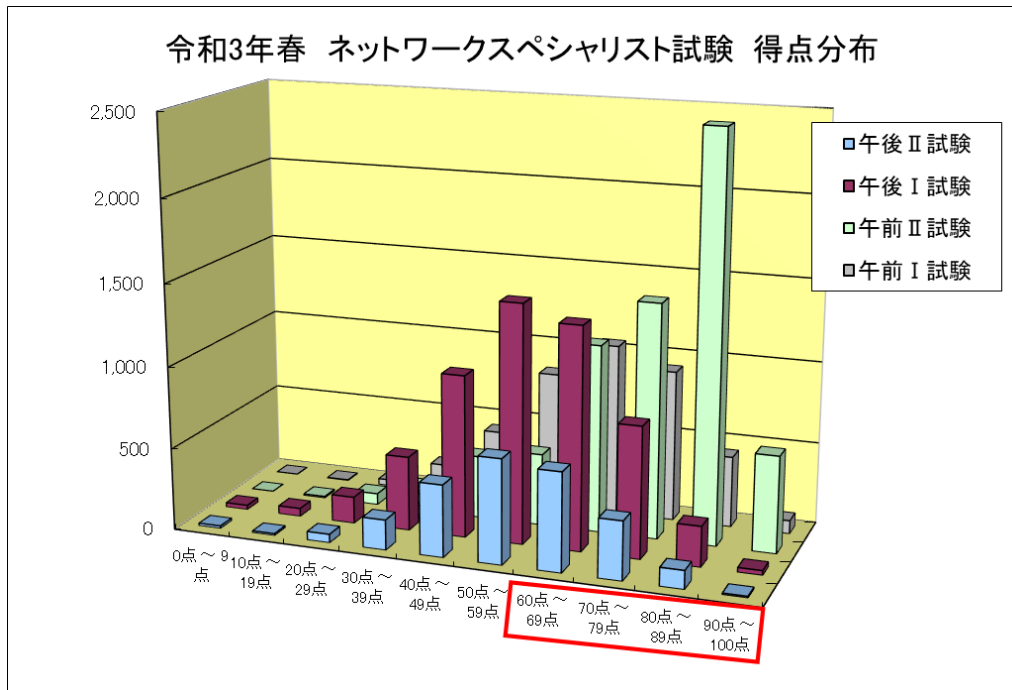
令和3年度春期のネットワークスペシャリスト試験の合格率は12.8%で、前回の14.4%に対して少し減少しました。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和3年度春期 ネットワークスペシャリスト試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	1	1	26	15	
10点～19点	4	9	49	11	
20点～29点	37	69	163	52	
30点～39点	178	148	454	184	
40点～49点	431	383	988	439	
50点～59点	835	440	1,449	636	
60点～69点	1,048	1,143	1,352	600	
70点～79点	923	1,426	798	356	
80点～89点	434	2,461	246	112	
90点～100点	81	591	28	9	
計	3,972	6,671	5,553	2,414	1,077
対前試験比率		168.0%	83.2%	43.5%	44.6%
午前Ⅰ免除者(概数)	4,448	52.8%			

合格者数	1,077	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	2,486	62.6%	1,409
午前Ⅱ60点以上合計	5,621	84.3%	4,544
午後Ⅰ60点以上合計	2,424	43.7%	1,347
午後Ⅱ60点以上合計	1,077	44.6%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 4,448 人 (52.8%) おり、約半数の受験者の人が午前 II からの受験となりました。ほぼこの比率で最近は推移しています。

次に午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の人は 2,486 人 (受験者の 62.6%) で、前回の 56.9% から増加しました。問題自体は前回よりも易しかったといえます。

午前 II 試験で基準点以上の人は 5,621 人 (受験者の 84.3%) となっており、こちらも前回の 80.9% から少し増加しています。午前 II 試験問題も前回よりも若干易しかったといえます。

午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 43.7% で、前回の 45.8% から微減です。

午後 II で基準点 (60 点) 以上取れた人は 44.6% で、こちらは前回の 49.2% から減りました。

■令和 3 年度春期 ネットワークスペシャリスト試験 出題内容について

(午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。毎回、午前 I 試験を通過できる 60 点以上の得点者は 5~6 割で、以外と難しく、足元をすくわれないよう確実に対策を進める必要があります。

問題内容は、文章問題は 17 問 (前回 14 問から増)、用語問題は 5 問 (前回 7 問から減)、計算問題が 2 問 (前回 5 問から減)、考察問題が 6 問 (前回 4 問から増) でした。これらは毎回増減がありますが、今回は文章問題がいつもより多い傾向でした。

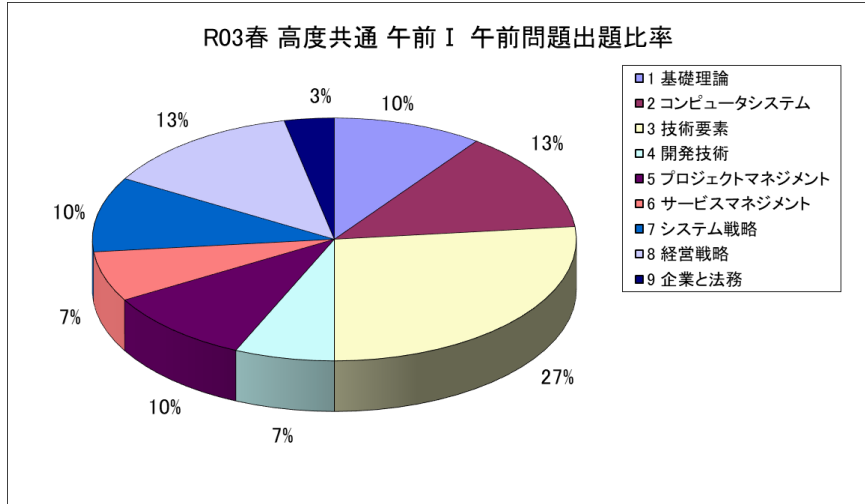
- ・問題は出題範囲からまんべんなく出題される前提ですが、今回は、ヒューマンインタフェース、サービスマネジメント、技術戦略マネジメント、企業活動からの出題はありませんでした。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・過去問題はこれまで平均で 7 割ぐらいですが、今回は 8 割ありました。内容的には定番問題が多く解答しやすかったといえ、全体として前回よりも少し易しかったと思われます。
- ・新傾向問題は次の 2 問で前回の 8 問からかなり減っています。以前は平均 4 問程度あったので少なかったといえます。

(新傾向問題)

問 6 ページアクセス時に発生する事象の回数

問 28 アグリゲーションサービスに関する記述

令和 3 年度春期 高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験で、ネットワークとセキュリティの専門知識の出題数は 15 問と 6 問の合計 21 問で、前回と同じでした。過去問題は全体の約 6 割を占めていますが、ネットワークスペシャリスト試験の過去問は 10 問で、前回の 14 問から減りました。

新傾向問題は次の 5 問で。専門のネットワークとセキュリティ分野の問題は減り、全体に前回よりも少し易しかったといえます。

問 3 IEEE 802.11a/g/n/ac で用いられる多重化方式

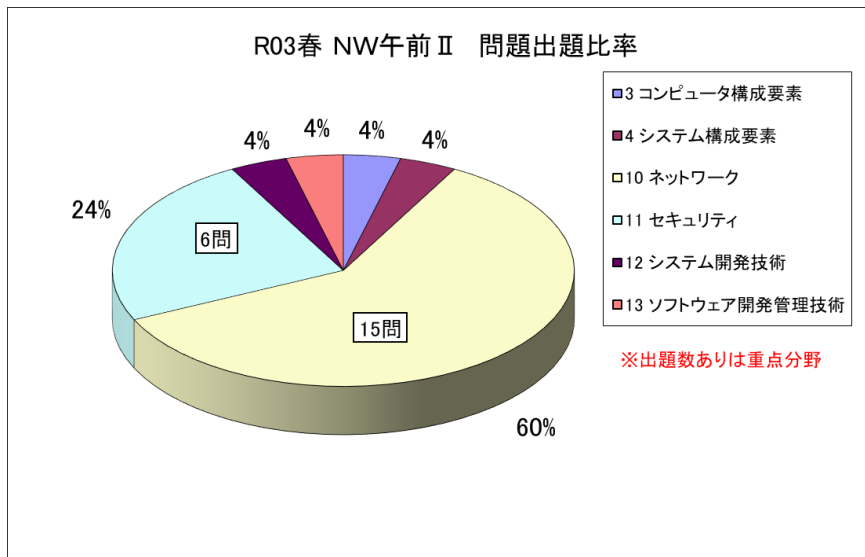
問 7 TCP でフラグメント化されることなく送信できる最大長

問 12 IoT で利用される通信プロトコル

問 17 リフレクタ攻撃に悪用されることの多いサービス

問 18 前方秘匿性の性質

令和 3 年度春期 ネットワークスペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



〔午後Ⅰ試験〕

午後Ⅰ問題の出題テーマと設問概要は、次のとおりで、全体にネットワーク本来の技術を問う内容になっています。問2はかなり難しい問題でした。

問1 ネットワーク運用管理の自動化（中古自動車販売会社） 普通

在庫管理システムの構成，新ネットワークの検討，ネットワーク更改後のシステム構成，構成管理の自動化，ポート接続リスト，LLDP，ICMP Echo request，FQDN，traceroute コマンド

問2 企業ネットワークの統合（中堅商社） かなり難

現行ネットワークの概要と構成，各セグメントのIPアドレス，OSPFによる経路制御，ネットワーク統合検討，統合後のネットワーク構成，ルーティンググループ，通信到達不可能部分

問3 通信品質の確保（機械製品の輸入・販売を行う商社） 普通

現状調査とネットワーク構成，IPパケット化，ジッタの吸収，電話サービス導入後のNW構成，タグVLAN，PoE，発生した問題と対策，レイヤ2・レイヤ3マーキングによる優先制御

〔午後Ⅱ試験〕

午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりで、それぞれ、各種プロトコル、フィールドの使い方などの専門知識が要求される問題でした。問2がやや難しい問題だったといえます。

問1 社内システムの更改（建設会社） 普通

サーバとPCの設定，静的経路情報，内部NW調査，STP，RSTP，追加ポートの役割，スイッチのスタック機能，新システムの構成，移行作業ステップ，新サーバの設定，切替作業手順

問2 インターネット接続環境の更改（物品販売会社） やや難

ネットワーク環境，利用状況調査，MIB，接続の冗長性検討，BGP，ピアリング，パスアトリビュート，最適経路選択アルゴリズム，BGPテーブル，ルーティングテーブル，接続の冗長化手順，トラフィック監視，通信量算出，カウンタ値の補正，経路情報の破棄，機械学習監視製品

